

## 図表やグラフから情報を読み取り、読み取った情報を活用して文章を書こう ～目的や意図に応じて、図表やグラフを用いて自分の考えを書こう～

＜課題の見られた問題＞ 「目的や意図に応じて、グラフを基に、自分の考えを書く」

B2二 (1) 高野さんは、「2 課題」について、＜図2＞を用いて書こうとしています。B の中に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。(正答率：30.1%)

- 条件① <図2>の結果から考えられることを書いていること  
条件② 書き出しの言葉に続けて、40字以上、60字以内で書いていること

＜解答類型と反応率＞

解答類型		反応率 (%)	正答
1	条件①、②を満たしているもの (正答例) 次の日に学校がない日は、学校がある日に比べて、ねる時こくが二時間以上おそくなる人のわり合が減っていないことです。	30.1	◎
2	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの	3.3	
9	上記以外の解答	60.3	
0	無解答	6.4	

＜学習指導要領における領域・内容＞

〔第5学年及び第6学年〕B 書くこと

エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。

＜分析＞

- ・解答類型9の反応率が60.3%である。これは、＜図2＞の活動前（5月）と活動後（11月）のグラフを比較した上で課題をとらえるという問題の意図を理解できなかったことが考えられる。
- ・図表やグラフなどを読み、分かったことを的確に書くには、情報を正しく読み取り、必要な情報について適切な言葉を用いて記述することが重要である。そのためには、社会科や算数科等で学習した図表やグラフの読み方を確認し、読み取ったことを的確に表現することができるように指導していくことが大切である。
- ・図表やグラフを用いて自分の考えを書く際には、図表やグラフなどから目的に応じて必要な情報を取り出し、比較したり関係付けたりしながら自分の考えを明確にすることが重要である。
- ・国語科の時間以外にも、図表やグラフのどういうところに注目するのか意識し、目的に応じて必要な情報を取り出して自分の考えを明確にする指導を継続的に行っていくことが必要である。

＜授業改善のポイント＞

B2二 (1) の結果を分析すると、活動の前後を比較して変化をとらえず、1つのグラフからいえる課題を取り上げて書いているものが多く見られました。自分の考えを書く前に、筆者がグラフを使っている目的や意図を理解できていないようです。これは、図表やグラフと関係付けて文章を構成し、自分の考えを書くことができるようにすることをねらいとした授業です。

### 【第5学年「資料を生かして考えたことを書こう」】

単元のねらい

環境保護について、理由や根拠を明確にしながら自分の考えを書くことができる。

単元の概要

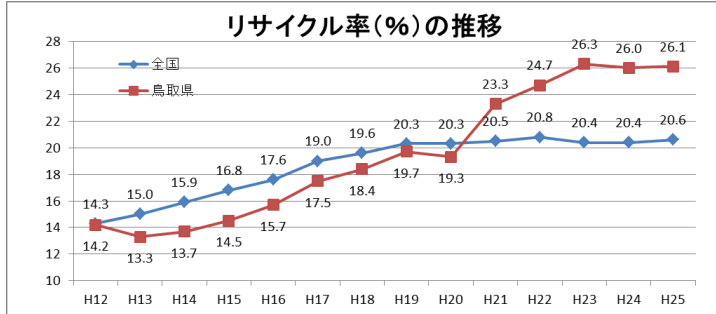
第一次	第二次	第三次
○環境保護について述べている文章を複数読み、それぞれの文章の立場や意見に対する感想を発表し合う。 ○学習計画を立てる。	○教材文を読んで、自分の意見文に生かせる書き方や説明の仕方の工夫を押さえる。 ○自分の意見に説得力をもたせる工夫をし、文章の構成を考える。	○友だちと意見文を読み合い、感想を交流する。 ○作品を意見文集としてまとめる。

学習と並行して環境保護について触れた本や資料を紹介し合う

- ① 学習と並行して、環境保護についての文章や資料を探して紹介し合い、自分の考えと友だちの考えを比べ、グラフの読み取り方によって様々な見方があることを理解する。

**Point**

同じグラフを提示しても、人によって様々な見方があることについて考える場面を設定しましょう。  
 (例) このグラフから分かることを、グラフのどこに着目したか根拠を基にして説明しましょう。



**図表やグラフの読み取り方**

- ・何を表す図表やグラフなのか
- ・どのように示されている図表やグラフなのか
- ・注目する数字や言葉はどれか
- ・注目する数字や言葉が何を意味するのか
- ・自分の考えの根拠になるのはどの部分か

**参考となる資料**

- ・新聞
- ・インターネット
- ・雑誌
- ・他教科の教科書 など



私は、この「リサイクル率の推移」のグラフから、鳥取県では、調査を始めた平成12年と比べると、平成25年は2倍近くになっているので、県民の環境保護に対する意識が高まっていると読み取りましたが、みなさんはどう思いますか？

- ② 教材文を読んで、自分の意見文に生かせる書き方や、説明の仕方の工夫を理解する。

**序論**  
自分の体験をもとに、話題を提示する。

**本論**  
示すべき事実が一層分かりやすくなるよう、図表やグラフなどを用いる。  
 ・数の大小や変化を示したい⇒グラフ  
 ・数字をはっきりと伝えたい⇒表  
 ・複雑な内容を分かりやすく伝えたい⇒図  
 ・実際の様子を詳しく伝えたい⇒写真  
 「図1は、～」といった表現を用いて、図表と本文の関連を示す。  
 資料から分かることと自分の考えたことは、分けて書く。

**結論**  
資料から分かったことを踏まえて、自分の考えをまとめる。

用いた資料をはっきりと示し、言葉や数字を正しく引用することが大切です。



書き出しに読む人の関心を高める話を例として出したり、「序論」や「結論」の部分の書き方を工夫したりしています。



- ③ 自分の考えが伝わるよう文章の構成を考える。

自分の考えが明確に伝わるよう、「自分の体験」「事実」「考え」等の記述の順番を工夫するとともに、選んだ図表やグラフが自分の考えを裏付けるものになっているか確認します。



調べた事実や資料の中から、自分の意見に取り入れたいものを選び、文章の構成を考えてみましょう。



調べた事実をいくつか書いて、最後に自分の考えを書きます。



自分の考えが伝わるように、最初に自分の体験を書きます。

- ④ 考えをまとめたものを友だちと交流し、助言し合う。



友だちと発表し合い、書き方のよさや工夫を見つけましょう。

**相互評価の観点**

- ・自分の考えが明確に示されているか
- ・考えに対する根拠が具体的に示されているか
- ・構成を工夫して考えが伝わるように書かれているか
- ・自分の文章に生かせるところはどこか

**Point**

意見交流の後、特別活動との関連を図り、より実効性のある提案にしていくことも考えられます。

<学校で取り組む授業改善> ~他学年や他教科でも大切にしたい内容~

**Point**

他教科でも、図表やグラフから分かることを考えて「書く活動」を意図的に取り入れることも必要です。図表やグラフについて、児童が活用して書く場面を設定しましょう。

<社会科>  
 ○我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色などについて考える場面。(第5学年)  
 ○黒船の来航、明治維新、文明開化などについて調べ、廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことについて考える場面。(第6学年)

<理科>  
 ○物を水に溶かし、水の温度や量による溶け方の違いを調べ、物の溶け方の規則性について考える場面(第5学年)  
 ○体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることについて考える場面(第6学年)